

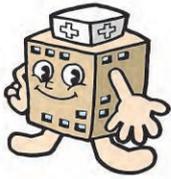
三豊総合病院だより

Mitoyo General Hospital

発行●三豊総合病院
 発行人●白川 和豊

2011
 50

KOKORO



三豊総合病院地域医療連携協議会を開催して

10月6日、三豊総合病院において、第5回三豊総合病院地域医療連携協議会を開催いたしました。三豊・観音寺市、四国中央市より、29医療機関（83名）の先生方・スタッフの皆様にご参加をいただきました。

今回は、完成した西棟を紹介するための見学会を行い、救急室・手術室・PETシンチ・リハビリセンター・病棟・免震装置などをご案内いたしました。地域医療機関の皆様からは、「大変参考になった。」「普段見られないところが見られて良かった。」などのご意見をいただきました。

見学後は、白川院長の挨拶、中津地域医療部長より新任医師の紹介、事務より連携室・相談室の紹介と開放型病床のご案内をさせていただきました。



開放型病床とは

入院治療が必要になった時、かかりつけの先生と当院医師が協力して最善の治療を実践するために設けられた入院病床のことです。

患者様が安心して入院生活を送ることができるように、信頼しているかかりつけの先生と当院の医師との共同で治療にあたります。



また今回は、特別講師として岡山画像診断センターの院長である加地充昌先生をお招きし、がん診療におけるPETの有効性についてご講演をいただきました。続いて放射線科医長・中村医師より、当院のPETシンチの運用についての説明をいたしました。11月1日からは、地域の医療機関からのPETシンチのご紹介の受付も開始しております。

協議会を終えて、ご参加いただいた地域医療機関の先生方・スタッフの皆様にごアンケートを発送し、今回の協議会についてのご意見や当院へのご要望をお伺いいたしました。これらの貴重なご意見を参考にし、今後、より一層病診・病病連携に努めて参りたいと思っております。

アンケート結果

- がんの早期発見に期待します。患者の体負担が軽くなるので、初期の段階で早くPET検査を多くの人に受けてもらいたい。
- 以前に増して複雑になった。「病院通り」が完成すれば改善されそう。
- 救命救急、災害時等の医療設備が充実しており、多くの人々の命が救えたら良いと思う。
- 近くでPET検査が出来るようになって良かった。

ちょうさまつり太鼓台訪問

10月8日（土）秋晴れの中、須賀の太鼓の親太鼓と子供太鼓、東浜の太鼓が新西棟のお祝いにきて下さいました。太鼓の訪問を楽しみにしていた患者様は早々に集まってこられ、50人分用意した椅子はいっぱいになりました。予定の11時より須賀町内会長の高橋さんからお祝いのお言葉をいただき、太鼓部長の合田智志さんからお祝いの伊勢音頭を披露していただきました。約50人の須賀の皆さんの合いの手も入り、一緒に歌った方もいらっしゃいました。

よあ～伊勢～

伊勢は津でもつ よいよい 津は伊勢でもつ よ～伊勢 よ～伊勢 尾張名古屋は よ～おい
それわな 城で～もつ そらそらや～とこせ～ よ～いやな あれわ伊勢～ これわ伊勢～
さーさよ～伊勢～

ここの座敷は よいよい 目出度の座敷 よ～伊勢 よ～伊勢 東の幕から 鶴が出た
そりや西の幕から 亀が出た そりや 鶴とな～亀とが 舞を舞う そらそらや～とこせ～
よ～いやな あれわ伊勢～ これわ伊勢～ さーさよ～伊勢～

めでためてたの よいよい 若松さまよ よ～伊勢 よ～伊勢 枝もな～栄えて よ～おい
それわな 葉も茂る そらそらや～とこせ～ よ～いやな あれわ伊勢～ これわ伊勢～
さーさよ～伊勢～

日ごろ祭りで良く聞いている（酔った）伊勢音頭とはまた違って正調な歌い方は聞き手に感動を与えてくれました。わずか10分足らずの時間でしたが時間が止まってしまった感じがしました。その後、須賀太鼓は医師官舎の完成を祝って官舎を訪問してくださり、医局の医師と懇親を深めたのでした。

須賀太鼓台のみなさま、本当にありがとうございました。



♪ピアノコンサートがありました♪

平成23年9月27日（火）13：30～14：30 新西棟1階病院通りにて、ピアニスト 香川 愛 様によるピアノコンサートが催されました。

今年生誕100周年を迎えるリストの曲を中心とした構成で、その他にもシューベルトやショパンなどなじみのある曲も演奏していただきました。

『芸術の秋』にふさわしい素晴らしい演奏で、香川様の表現力豊かな演奏に目を閉じて耳を澄ます方や、思わず手元がよく見える前方の席へ座り直す方もいらっしゃいました。短い時間ではありましたが、患者様やご家族にとって有意義な時間になったのではないのでしょうか。



これまでの「新型インフルエンザ」は 季節型インフルエンザになりました

三豊総合病院 内科部長 山地 康文



2009年3月にメキシコ、アメリカから発生し世界中に瞬く間に蔓延し、猛威をふるった豚由来の新型インフルエンザですが、今年の4月1日をもって季節型インフルエンザとなりました。それに伴いまして名称も変更になり、これからは「**インフルエンザ (H1N1) 2009**」と呼ばれることになりました。

このインフルエンザですが、世界中で多くの若者を中心に死者を出しましたが、世界中の国の中で最も死亡率が低かったのは我が国でした。原因は一つではないと思われませんが、病院にアクセスしやすいという保健医療制度があることは間違いありません。

世界中で使用されたタミフルなどの抗インフルエンザ薬の70%が日本で消費されたと言われていますが、これらの薬を有効に使うためには、発症早期に正しく診断され、投薬される必要があります。多くの国ではかぜ程度のことでは病院には行けませんから、インフルエンザだったのだが、発熱がある程度では病院には行かないうちに重症化して、それから、これらの薬を投与しても本来の効果を発揮することができないわけです。こういうことも他国との差となって現れたものと考えられます。

そう言うものの、インフルエンザ対策の基本は、まずはワクチン接種にあります。現在インフルエンザワクチンの集団接種が有効であるという考えが世界で主流になっていますが、この考え方に貢献したのも我が国で以前行われていた学童への集団接種が高齢者を含めた社会の超過死亡数の減少という分析結果の報告が影響しています。

今年のインフルエンザワクチン接種は済みましたか？2009年の流行時は11月がピークでした。過去の新型インフルエンザの流行では、季節型に変わった後に流行月が早くなったケースと遅くなったケースがありました。これがどうなるかの予想は困難ですので、今年は例年より早く接種を行っています。今年のワクチンの特徴は、昨年流行したインフルエンザ (H1N1) 2009ウイルス株を用いて作成しており、昨年はこのウイルスの抗原性がほとんど変化しなかったため、有効性が非常に期待できることにあります。

このウイルスは若年者に感染力が高く被害を多く及ぼしましたが、季節型に変化した後には通常の季節型インフルエンザと同様に高齢者を中心に超過死亡を増加させることが懸念されています。すなわちこのウイルスの直接の死亡ということではなく、ウイルスの感染した後に肺炎などを引き起こし、その肺炎が死亡原因になるということです。そういうことから、お年寄りには特にワクチン接種を徹底することが重要といえます。

その他、インフルエンザに対してできることとして、部屋の湿度を高めること、外出から帰ったらうがいと励行すること、マスクを着用すること、流行期には人ごみを避けること、夜更かしをさけて十分睡眠をとることなどの対策を行って下さい。

インフルエンザの薬についての正しい知識

薬剤部より

インフルエンザは、インフルエンザウイルスの増殖を抑えるお薬で治療します。

現在、日本で使用されているインフルエンザの治療薬は、『タミフル』、『リレンザ』、『イナビル』と『ラピアクタ』があります。（A型インフルエンザのみに効くアマンタジンという薬もあります）

タミフルは内服薬で、成人はカプセル、小児はドライシロップが使われます。1日2回、5日間内服します。

リレンザは吸入薬で、成人、小児ともに1回10mg（5mgを2回、吸入で1回分）を1日2回、5日間吸入します。

イナビルは吸入薬で、成人と10歳以上の小児は40mg（2キット）、10歳未満の小児は20mg（1キット）を、1回だけ吸入します。

ラピアクタは点滴薬で、成人は1回300mg、小児は1回体重1kgあたり10mgを15分以上かけて1回だけ（重症の場合は症状に応じて連日）点滴静注します。

これらのお薬は、病気の期間を短縮したり、症状を軽減したりする効果があります。

インフルエンザウイルスは、増殖のスピードが速いため、症状が出現して、48時間以内にウイルスの増殖のピークがきます。このため、48時間以内に服用しないとお薬の効果が現れにくくなるため、発症後できるだけ早く使用を開始することが重要です。

関連は不明ですが、タミフルやリレンザなどの抗インフルエンザウイルス薬を服用後に異常行動などの精神・神経症状を起こし、転落等の事故に至った報告があり、その大半が10歳代の患者様でした。

万が一の事故を防止するための予防的な対応として、小児・未成年の患者様については、抗インフルエンザウイルス薬による治療が開始された後、自宅において療養を行う場合、少なくとも2日間は、お子様が一人にならないようお願いいたします。

インフルエンザウイルスによるインフルエンザ脳症などでも同様の症状があらわれることがあります。インフルエンザウイルス感染症と診断され治療を開始した後は、異常な行動に十分注意してください。

インフルエンザ予防注射のご案内

<インフルエンザ予防注射について>

- ・インフルエンザの予防注射が始まっています。
- ・外来受診をしている方で注射をご希望の方は、診察の時に主治医に相談して注射を受けてください。
- ・三豊・観音寺・四国中央市在住の方で65歳以上の方は、市より補助があります。接種券をお持ちの方は、ご持参ください。
- ・外来受診していない方で予防注射のみご希望の方は、平日15時～16時に玄関で受け付けをしてください。



高齢者の肺炎とお口のケア 三豊総合病院企業団 歯科保健センター 木村 年秀

65歳以上の高齢者は2,500万人を超え、50年前と比べると5倍にもなっています。医療機関にかかる方は高齢になるほど多くなっています。ところが、歯科医院を受診する高齢者は75歳くらいから年をとるにつれて、少なくなります。お口の中の問題がなくなるわけではなく、歯科医院にご自分で受診することが困難になったり、入院してしまったり、施設に入所しているため、歯医者さんにかかれない状況になってしまうということでしょう。8020（はちまるにいまる）運動の普及で多く的高齢者がたくさんの歯を保有するようになりました。現在、80歳の高齢者の約2割が20本以上歯をもつようになり、8020社会の到来は、夢の話ではありません。

このような状況のなか、介護が必要な人たちのお口の中は決して良い状態ではありません。お口の中には、何千億もの細菌が住んでいます。歯磨きや義歯の掃除ができないとさらに細菌は増加します。脳卒中や認知症などが原因で飲み込みが悪くなると、食道に入るはずの食べ物や唾液がお口の中で増殖した細菌とともに誤って気管の中に入っていきます。これを誤嚥（ごえん）と言い、体力のない高齢者などは肺炎を起こすことも少なくありません。高齢者の肺炎は、ほとんどがこの誤嚥性肺炎で、最近、特に増加してきているようです。誤嚥性肺炎を予防するためにはお口のケアをしっかりとすることが最も大切で、約40%の予防効果があることも分かっています。歯磨きができていないとインフルエンザにもかかりやすいようです。お口の中の細菌が出す酵素によりインフルエンザウイルスが咽頭の粘膜にひっつきやすくなるからです。

肺炎を起こして入院治療し、治ったとしても、お家に帰ってお口のケアがしっかりできないとまた肺炎を繰り返して再入院してしまうことにもなりかねません。観音寺・三豊地域で、病院や施設、介護担当者、ご家族などが協力して地域ぐるみで肺炎を予防できるしくみを作っていきます。

通院困難な方の歯の治療やお口のケアのご相談は、香川県歯科医師会内の在宅歯科医療連携室（TEL087-851-4965）や三豊総合病院歯科保健センター（TEL0875-52-3366）までお願いします。



当院での在宅訪問歯科診療の様子

新任医師紹介 よろしくおねがいします。



麻酔科

住吉 公洋 (すみよし きみひろ)

人が好き、スポーツが好き、旅が好きな熊本出身の田舎者です。趣味は他にもドライブ、映画、音楽鑑賞、読書（マンガも含めて）、温泉めぐり、アウトドア等、いろんなことに興味を持つタイプなので、何にでもお誘いいただけたらと思

っています。まだまだ慣れない土地で不安もありますが、よろしくお願ひ致します。



産婦人科

関 敬之 (せき たかゆき)

豊浜小学校入学の年、1年生には夢があった。阪神で4番を打つ、宇宙飛行士、ファミコンのソフトを作る。私は医者になったかった。大人になれば手を伸ばしても届かぬものもあると気づくが、今産婦人科の専攻医として郷里で仕事させて頂くチャンスを得て喜んでいる。周りの人に教えを乞い、よく働き、遊び、学びたいものだ。

～24時間血糖測定機の導入について～

糖尿病のコントロールがうまくいっているかどうかは、血糖が
いかに正常に近いかがカギになります。そのためインスリンを使
用中の糖尿病患者さんは血糖自己測定をすることが保健診療で認
められており、血糖を測っていただいてその結果を元にインスリ
ン量の調整を行っています。しかしながら急な変動や夜間の変動
を記録するには、その都度血糖を測らないといけません。なか
なか血糖が改善しない患者様の血糖を持続して測れば、急な低血糖
や高血糖をとらえることが出来て治療の参考になります。平成22年3月から皮下持続式血糖測定が
保険で認められました。インスリンを使用し、自己血糖測定をしている方が対象ですが3割負担のか
たで4000円程度の費用がかかります。お金をかけただけの結果が分かる検査として血糖が不安定な
方や、夜間の低血糖が心配な方にお勧めです。機械が1台しかなくて火曜日の午前中と金曜日の午
後の週2人ずつしか検査が出来ませんし、検査中72時間お風呂に入れません。（シャワーは浴びれ
ます）ご希望の方は主治医の先生までお申し込みください。



イルミネーション点灯式音楽会

イルミネーション☆音楽会実行委員会

もうすぐ12月ですね、当院恒例のイルミネーションの時期となりました。
今年も下記の日程でイルミネーション点灯式音楽会を行ないます。
皆様多数のご来場をお待ちしています。

日時：平成23年12月1日（木曜日） 内容：・わたっ子園児による合唱
・大野原中学校による合唱
時間：午後4時30分～午後6時 内容：・イルミネーション点灯



行 事 食

稔の秋。新米が美味しい季節になりました。

ご飯が余ったという方に、温かいご飯でも冷やご飯でも使って作れるレシピを紹介します。

お好み風ライス (4人分)

めし	440g
しらす干し	40g
金山寺みそ	21g
とき卵	40g
しょうが	12g
ねぎ	20g
マヨネーズ	20g
合わせ味噌	20g
あおのり	4g
糸かつお	4g



- ①ボールに [] の材料を混ぜ合わせる。
- ②耐熱容器に入れ平にのぼし、オーブン250℃10分焼く。フライパンで両面焼いても良い。
- ③焼きあがったら皿にとり、青のり・糸かつおををる。好んでマヨネーズ・合わせ味噌を混ぜたものをぬって美味しいでしょう。

9月 お月見

栗ご飯
さんま塩焼き
清汁
蒸しまんじゅうあんかけ
月見カステラ



10月 お祭り

ちらし寿司
鯛塩焼き
松茸吸い物
お煮しめ
甘酒・みかん

